

希望を語る

第 267 号
2023.11.1

2000 年 8 月発足

23 年の歴史を持つ患者会“希望を語る会”ニュースレター

11

希望を語る会事務局：健康増進クリニック

TEL03-3237-1777 Fax03-3237-1778

www.kenkou-zoushin.com info@kenkou-zoushin.com

体のアルカリ化による癌治療

院長 水上 治

何十年か前ですが、酸性食品は健康に悪い、アルカリ性食品がいい、という概念が普及していましたが、本来人体は PH7.2 位の弱アルカリ性に調節されているので、この概念は間違いとされてきました。ところが、それは近年になって不正確であることが分かりました。たとえば 2017 年の国立がん研究センターの研究によって、酸性に傾いた食餌によって、全死亡リスクが 16%増加しているというデータが出たのです。

癌細胞自体はアルカリ性ですが、周囲を酸性物質で保護しています。そこで、アルカリ性の食事を摂ることで、癌を保護する物質を中和することが分かってきました。すでにヨーロッパでは、癌治療のアルカリ化療法は常識になっていて、4 年前に私が訪れた、スイスのパラケルススクリニックでも、既に常識とされていました。

わが国でアルカリ化療法の先頭に立っているのが、元京都大学胸部外科教授の和田洋巳先生で、現在は、からすま和田クリニックの院長です。細胞がアルカリ化すると、尿もアルカリ性になります。つまり、尿がアルカリ性の癌患者さんの経過が良いのです。先日直接お話をお聴きし、私もアルカリ化を癌治療に応用したいと決断しました。

当院では皆さんには和食を勧めてきました。さらにアルカリ化を強めるために、野菜果物をより多く摂ること、出来ればご飯は玄米など未精白の物が望ましいことは言うまでもありません。当院では今後、癌の方は、定期的に尿検査でアルカリ度を調べてもらい、その結果をもって、希望される方には、アルカリ剤の点滴を受けていただいたり、アルカリ化製剤（重曹とクエン酸製剤）の飲用をお勧めします。

音色にのせて

かいだ ふゆき



昨年の恒例クリスマス会は水上いづみ氏のピアノと小池はるみ氏のバイオリンによるデュオ・リサイタルでした。いつもこの企画を楽しみにしているので、療法を受けながら、お二人が奏でる素敵な音色に酔いしれました。演奏用ではない建築空間ではバイ

オリンの音が割れることもあるのですが、この診療室ではその心配もなく、音色が優しく響き合います。

電子ピアノから響く温もりのあるチェンバロの音色と、バイオリンが放つ高音の繊細なビブラートに聴覚と心を委ねるひととき。音色は病を背負う人の痛みの琴線に触れ、心の琴線を優しく撫でて、疼痛の記憶から私たちを解放してくれます。

それは「音色にのせて感情が昇華するとき」なのです。降り積もったマイナスの感情は音色にのって解き放たれ、浮遊しながら昇華します。そうすると私たちの心には、昇華する前の感情が占めていた空間が、^{から}空の余裕となって現れます。この空の余裕は人生の余裕を生み出します。軽くなった心と、音色で弛緩した神経とで「生きやすい人生」を感じることができるのです。

艶やかで美しい音色は、私たちの恐怖心と痛みを鈍麻させる作用があると言えます。私には治療と音楽にまつわる思い出が幾つかあります。当時、あまり情報がなかった針生検の検査を受ける際にその恐ろしいほどの大きな機械音を掻き消し、疼痛イメージに神経が集中しないようにと、好みの音楽や自分のつたない演奏を録音したテープを処置室に持参し、イヤフォンで耳に栓をして聴いたことがあります。手術日まで好みの音楽テープの「聴きながら生活」をして、恐れイメージを緩和しました。病院側では、手術当日の麻酔開始時に好きな曲を手術室でかけてくださる素敵なサービスがあり、クライスラーの『前奏曲とアレグロ』を持参しました。耳慣れた流麗な音色を2小節聴いたところですっかり麻酔の世界に入り込みましたが、恐怖心を取り除く効果は絶大でした。このときから、「医療処置を受ける患者の緊張を音色が緩和することができるのだ」という印象を今も深く持ち続けています。

毎年、クリスマス会を企画し、進行して下さるスタッフの皆様、そして演奏家の皆様に改めて感謝申し上げます。



五行歌

小林美智代さま

窓ごしに
眺める紅葉
一年の役目を
果たしたその姿
みごと

私を呼ぶ
中国人の先生の
なまりが
妙に
胸にしみる

ひまは体によく
心にも悪い
何だか切ない
そして自分に
恥かしい

みーこねーちゃんの絵手紙

佐藤美恵さま



佐藤様はH7年に脳梗塞で左半身麻痺となり、H24年より当院にて鍼治療を開始しました。元副院長の加藤医師の勧めで始めた絵手紙。もともとは右利きですが左の麻痺を克服するために、左手で書いています。それを北海道在住の妹さんに送ったところ、とても喜んでくださり、カレンダーにしてくださいました。(待合室のドアのところに飾っています)



坊主岩
(ビジャクシン岳)
屋久島

S.S



クリスマスコンサートのお知らせ

フルートとピアノのアンサンブル

12月19日(火) 11:30~12:30 点滴フロアにて
参加費 無料(患者様・ご家族様) 予約制

プロフィール

亀田 奈美子(フルート) 東京学芸大学教育学部音楽科フルート専攻卒業。チロル州立音楽院に留学。第11回日本クラシック音楽コンクール第3位。クラシックからJAZZ、即興演奏、篠笛となんでも吹きだがる雑食系フルーティスト。小金井カメダフルート教室主宰。木管5重奏団「QuiteQuiteQuintet」、「アンサンブルマタン」メンバー。

安川 友美(ピアノ) 6歳よりピアノを始める。福岡教育大学中学音楽課程卒業。ピアノソロ、室内楽演奏、器楽伴奏、歌曲伴奏、コンサートにて活躍中。特に、フルート伴奏においてはバロックから現代曲、ポピュラーまでレパートリーは幅広い。「ensemble matin」のメンバー。



水上医師による《院内セミナー》

がん・難病・健康回復の最新情報をお話した上で
皆さんを交えた意見交換を致します

11/7(火) 10:30~・アンチ 16:00~
12月・令和6年1月のセミナーは
お休みさせていただきます



曜日	治療時間	電話受付
月・火・木	9:30~16:30	9:15~16:30
金	9:30~17:00	9:15~17:00
日曜日(月2回)	9:00~14:00	8:45~14:00
※ 日曜診療日: 11/12・11/26 12/10・12/24		